

一般社団法人おきなわ子ども未来サポート

2021年度

にじいろかかず 活動報告書



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



「子ども第三の居場所」は日本財団が開設・運営を支援しています。

01

イントロダクション

にじいろかかずは、沖縄県宜野湾市嘉数にある「子ども第三の居場所」です。日本財団の助成を受け、2021年10月から活動を始めました。公民館を借りて活動をしていて、主に地域の小学生・中学生が遊びに来ています。

02

にじいろかかずの活度概要

目的

児童館もない宜野湾市嘉数という地域で、子どもたちがふらっと立ち寄って遊んだり小腹を満たしたりすることで、安心して時間を過ごせる居場所の提供を目指しています

利用対象者

だれでも遊びに来てよい

ただし食事の提供があるのでアレルギーの確認などで、保護者記入の利用登録書の提出をお願いしている

4歳～中学3年生までが遊びに来ています

活動について

開催日

毎週月・水・金 15:30～19:00

活動内容

- 学習支援
- 食事支援
- 生活支援
- イベント開催 など

03

利用者のフィードバック

参加者からのフィードバックを集計した結果、以下のような意見がありました

学童に行っていないから放課後暇だったけど、にじいろかかずにできて友達とも遊べて楽しい



おやつももらえるし
体育館で遊べるし
宿題も教えてもらえて
最高



プールに行ったり、バスケの試合を行ったり、普段行かないところに連れてってもらえて嬉しい



親のいない家に子どもだけでいるよりも、誰か大人がいる場所で見守ってもらえていても安心（保護者）



04

活動の強み

にじいろかかずが地域に与える影響

✓ 安心できる居場所の提供

大きな公園はあるが周辺の交通量が多く、特に低学年の子どもだけで遊ぶには安全面で課題が残る地域に安心して遊びに行ける居場所ができた意義は大きい

✓ 行政との連携

宜野湾市子育て生活支援員と連携しており、有益な情報や支援が必要な方へ必要なタイミングで届けられるよう動いている

✓ 新型コロナウイルス対策

感染者増により開所ができない期間も、利用している子どもの自宅へ食料品を届け、見守り活動を継続強化した

✓ おやつや食事の提供

手作りの美味しい食事を毎回提供
「いただきます」「ごちそうさま」とみんなで食事をする楽しさや基本的な生活習慣も教えている

06

これからの課題

WORST 1 2024年度以降の安定運営

日本財団からの助成金は2023年度までなので、2024年度以降安定して運営を続けるための資金調達が必要となる

WORST 2 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの流行がおさまらず、思うような活動ができない事業初年度となった

WORST 3 ボランティアの確保

活動継続のためボランティアの確保が課題

大学コンソーシアムという学生ボランティアを派遣する団体があるので、次年度以降はそちらとの連携を目指す



07

最後に

「にじいろかかず」をはじめたことで地域のこどもたちが安心して放課後を過ごせる居場所が作れました

新型コロナウイルスの蔓延が続くため、思うような活動ができない1年目となってしまいましたが、なによりもおうちとも学校とも違う、信頼できる大人がいる「第三の居場所」があることが子どもたちにとって良い影響となり学校の悩みや進学についてなど、ちょっとしたおしゃべりの中で大切な話もできるようになっています